

“母子デイケア利用後の母子の心理社会状況”
に関する調査にご協力下さい。

デイケア利用時と現在の母子の状況について調査することで、養育支援の一環として行われている母子デイケアの役割が明確となると考え、本調査を行うこととしました。

この調査は国立成育医療研究センターの倫理審査委員会の承認を得て行われます。

「母子デイケア利用後の母子の心理社会状況」
を調査するための手順

- 対象者は、母子デイケア利用を終了した方をお願いします。
- 別紙調査票による無記名式のアンケートを実施します。
ご記入いただいたアンケートは郵送で回収いたします。
- 参加者に直接のメリットはありませんが、今後の母子デイケアの発展と母子サポートの拡充に寄与できると考えられます。
質問紙への記入に20分ほど時間を要します。
- アンケートではご参加くださる方の個人情報となるものはご記入頂きません。記載された内容も、漏えいしないように施錠されたスペースに厳重に保管します。調査の結果は学術集会や論文として発表をする予定です。その場合は、個人情報をただちに判別できないように加工した上で行います。
- 集計結果は、本アンケートを送付した方に来年4月頃、郵送予定です。
- 調査終了後、得られたデータは施錠された場所に5年間保管し、その後、速やかに廃棄します。
- 調査への参加は自由です。ご参加いただけない場合でも、不利益が生じることは一切ございません。なお、無記名式のアンケートですので、一旦アンケートにご回答頂いたあとに参加を取りやめることはできません。
- 研究計画書や方法に関する資料を閲覧することができます。
- 調査にかかる謝礼・費用は一切ございません。
- 調査期間は解析等を考慮し、倫理審査承認後～2023年3月31日までとなっております。
- ご不明な点等、お問い合わせは下記までご連絡ください。

公認心理師・臨床心理士 五味淵三幸・姜英愛 03-5430-2245

クリニックおぐら
母子研究班責任者 生田憲正
(Tel: 03-5430-2245)